令和5年第3回会津坂下町議会定例会会議録

令和5年8月31日から令和5年9月13日まで第3回定例会が町役場議場に招集された。

令和5年9月13日 午前10時00分

1. 応招議員（14名）

1番 目黒克博	2番 蓮沼文明	3番 物江政博
4番 赤城大地	5番 横山智代	6番 渡部正司
7番 佐藤宗太	8番 山口享	9番 青木美貴子
10番 渡部順子	11番 五十嵐一夫	12番 酒井育子
13番 小畑博司	14番 水野孝一	

2. 不応招議員（0名）

3. 出席議員は応招議員と同じ。

4. 欠席議員は不応招議員と同じ。

5. 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名

議会事務局長	鈴木久	書記	中村夏実
書記	加藤秀法		

6. 地方自治法第121条の規定により説明のため議場に出席した者の職氏名

町長	古川庄平	副町長	板橋正良
教育長	鈴木茂雄	総務課長	佐藤銀四郎
政策財政課長	佐藤秀一	生活課長	新井田英
建設課長	古川一夫	産業課長	長谷川裕一
庁舎整備課長	遠藤幸喜	会計管理者	田部嘉之
教育課長	上谷圭一	子ども課長	五十嵐隆裕
監査委員	仙波利郎		

◎議長（水野孝一君）

起立全員であります。

よって、同意第12号「教育委員会委員の任命について」は、これに同意することに決定いたしました。

◎諮問第2号の質疑・討論・採決

◎議長（水野孝一君）

日程第3、諮問第2号「人権擁護委員候補者の推薦について」を議題といたします。

お諮りいたします。

本件は、お手元にお配りした意見のとおり答申したいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

ご異議ないものと認めます。

よって、諮問第2号「人権擁護委員候補者の推薦について」は、お手元にお配りした意見のとおり答申することに決定いたしました。

◎諮問第3号の質疑・討論・採決

◎議長（水野孝一君）

日程第4、諮問第3号「人権擁護委員候補者の推薦について」を議題といたします。

お諮りいたします。

本件は、お手元にお配りした意見のとおり答申したいと思います。

これにご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

ご異議ないものと認めます。

よって、諮問第3号「人権擁護委員候補者の推薦について」は、お手元にお配りした意見のとおり答申することに決定いたしました。

◎決算特別委員会委員長の報告

◎議長（水野孝一君）

日程第5、決算特別委員会に付託しておきました、認定第1号「令和4年度会津坂下

町一般会計歳入歳出決算について」から、認定第8号「令和4年度会津坂下町水道事業会計決算について」までの8件を一括議題といたします。

一括議題とした件名を職員に朗読させます。

◎書記（加藤秀法君）

認定第1号	令和4年度会津坂下町一般会計歳入歳出決算について
認定第2号	令和4年度会津坂下町国民健康保険特別会計歳入歳出決算について
認定第3号	令和4年度会津坂下町介護保険特別会計歳入歳出決算について
認定第4号	令和4年度会津坂下町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について
認定第5号	令和4年度会津坂下町下水道事業特別会計歳入歳出決算について
認定第6号	令和4年度会津坂下町坂下東第一地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算について
認定第7号	令和4年度会津坂下町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算について
認定第8号	令和4年度会津坂下町水道事業会計決算について

◎議長（水野孝一君）

特別委員会での審査経過及び結果についての報告であります。決算特別委員会委員長報告書がお手元にお配りされております。審査には全議員が出席し、報告内容はよく承知しているものであります。

会議規則第41条第3項の規定に、会議に諮ってこれを省略できるとあります。

お諮りいたします。

改めて委員長からの報告を求めず、これを省略することに、ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

ご異議ないものと認めます。

よって、改めて委員長からの報告は求めず、これを省略することにいたしました。

これより、決算特別委員会委員長の報告に対する質疑に入ります。

決算特別委員会委員長、登壇願います。

◎4番（赤城大地君）

議長、4番。

◎議長（水野孝一君）

4番、赤城大地決算特別委員会委員長。

◎4番（赤城大地君）（登壇）

決算特別委員会委員長の赤城大地でございます。

◎議長（水野孝一君）

認定第1号から認定第8号までに対する質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

質疑もないようであります。

これをもって質疑を終結いたします。

これより、討論・採決に入ります。

討論・採決は1件ごとに行います。

初めに、認定第1号「令和4年度会津坂下町一般会計歳入歳出決算について」。まず、反対討論の発言を許します。

◎11番（五十嵐一夫君）

議長、11番。

◎議長（水野孝一君）

11番、五十嵐一夫君。

◎11番（五十嵐一夫君）

私は、認定第1号「令和4年度会津坂下町一般会計歳入歳出決算について」認定するに反対の立場から申し上げます。

町政執行において、新庁舎位置については厚生病院跡地を候補地にしたいと2月に発表しました。その後の令和5年度においては、地区懇談会開催を経て、結果、撤回となりました。

昨年6月の議会からの意見書採択もありました。意見書を重視したのか、町長は既に議決された新庁舎位置に事業を進めることを停止しました。

2月の新庁舎位置候補地を発表後は、大きな混乱が続きました。その混乱の原因は、前町長時代に既に議決されたことを継承しないことが原因であります。意見書は、町長の町政執行を拘束するものではありません。決断したのは町長であります。議決どおりに進めていれば、今頃は新庁舎の概要などが示されていたでしょう。新庁舎建設が遅れることになったのは、町長の執行力が原因であります。

新庁舎建設という大プロジェクト事業を混乱させた責任は、極めて重いのです。その責任を痛感していただくためにも、本決算を認定するわけにはまいりません。

本決算を認定するに反対します。

◎議長（水野孝一君）

次に、賛成討論の発言を許します。

◎2番（蓮沼文明君）

議長、2番。

◎議長（水野孝一君）

2番、蓮沼文明君。

◎2番（蓮沼文明君）

私は、認定第1号「令和4年度会津坂下町一般会計歳入歳出決算について」認定することに賛成の立場から意見を申し上げます。

財政健全化が大きな課題となっている中、令和4年度一般会計歳入歳出決算の実質収支は、4億6,319万9,000円となりました。歳入では、特にふるさと納税において、前年度比1億737万2,000円増の3億7,000万9,000円となり、これは県内でも上位の納税額であり、創意工夫のたまものだと考えます。歳出では、新型コロナウイルス地方創生臨時交付金を最大限活用し、各担当部署において、必要な事業を見極め、的確に各種事業を執行されたと考えております。

今後も財政の健全化を最重点課題としながらも、創意工夫、協働のまちづくりによる各種政策、施策を進めることを要望いたしまして、賛成討論といたします。

◎議長（水野孝一君）

次に、反対討論の発言を許します。

（「討論なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

次に、賛成討論の発言を許します。

◎6番（渡部正司君）

議長、6番。

◎議長（水野孝一君）

6番、渡部正司君。

◎6番（渡部正司君）

私は、本決算認定に賛成の討論をいたします。

本決算は、古川町長にとって初めての予算編成、そして執行となりました。コロナ禍、そして財政健全化の取組の中での執行でありました。前年度に続くコロナ禍での執行であったわけです。行動制限された中でも住民のために必要な執行は必要であり、不可欠でもあります。その執行には、大変なご苦勞があったと思います。

また、単年度を超えての執行も数多くあります。複数年度での決算評価もしなければいけないところだと思います。労をねぎらいたいと思います。

財政分析に至っては、各指数とも改善が見られてきました。しかしながら、コロナ禍を脱し、これから財政規模も例年度のように戻りつつあります。今回も不用額となったその取扱いも含めて、いよいよ町運営の底力が試されるときではないでしょうか。

一部事業について申し上げます。

今ほど同僚議員からありましたように、ふるさと納税では、大きな増額がありました。これも知恵と足で稼いだたまものだと思います。今後も、今度は裾野を広げられるよう期待をいたします。

地域づくりにおいては、地域課題解決を模索し、各地区への交付金もこれまでになかった発想でありました。受け手側としても、地域課題の解決に改めて取り組むきっかけとなったと思います。高く評価したいと思います。

そのほか、各地区からの要望にも、特に道路関係では、小さな歩みではありますが、工夫を凝らしながらの歩んでいることを評価できます。原地区にあっても、地区民の念願であった道路改良工事の測量も執行され、今年度、5年度に引き継がれ、住民の安心安全の事業となっています。

新庁舎建設にあっては、一部執行残ということになりましたが、これはまさに民意を反映した結果であったと考えています。年月を経て、建設に対する多様な考え方が町民全体にも沸き起こり、その民意を受けた結果となったと思います。現時点では、執行残ということであろうと考えています。

各事業がコロナ禍で単年度の評価が難しくなっていますが、まさしく庁舎建設関連においては、計画立案の現在だからこそ単年度での評価というのは容易ではないというふうにも考えています。なお、執行された当建設関連においては、まちづくりのための大きな投資であったと評価をしています。

今後も住民の声を聞き、施策に盛り込み、そして、お知らせをし、住民の信頼が深くなるよう期待いたします。知恵を総動員させ、町の底力を発揮していただきたいと思えます。本決算に賛成します。お疲れさまでした。

◎議長（水野孝一君）

ほかに討論ありませんか。

◎1番（目黒克博君）

議長、1番。

◎議長（水野孝一君）

1番、目黒克博君。

◎1番（目黒克博君）

認定第1号を認定することに賛成の立場から意見を申し上げます。

令和4年度一般会計決算額は、歳入総額から歳出総額を引いた実質収支額が4億6,319万9,000円の黒字になっております。その歳入においては、新型コロナウイルス感染症の影響で減少した自主財源の大本である町税収入が前年より増加し、徴収率を高い水準で保っているものと思われます。

また、歳出においては、住民の安心安全な生活を守るため、地区の要望に対する道路補修工事などの実施、また、原油価格をはじめ、電気ガスなどの生活に影響する物価高騰で影響を受けた生活者や事業者の負担軽減をするため、会津坂下町の生活支援事業を実施するなど必要な事業を行われ、的確に執行された結果だと考えます。

現在は、コロナ禍以前の生活に戻りつつも、物価高騰による影響は多岐に及んでおります。財政運営には、より一層の交付が求められると思います。今後も適切な予算執行に努められ、ご尽力されることをご期待申し上げ、今回の決算認定の賛成の討論といたします。

◎議長（水野孝一君）

ほかに討論ありませんか。

（「討論なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

討論も尽きたようであります。これをもって討論を終結いたします。

これより、認定第1号「令和4年度会津坂下町一般会計歳入歳出決算について」を採決いたします。

この採決は起立をもって行います。

本決算に対する委員長の報告は、認定であります。

本決算は、委員長報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（起立多数）

◎議長（水野孝一君）

起立多数であります。

よって、本決算は、認定することに決定いたしました。

続いて、認定第2号「令和4年度会津坂下町国民健康保険特別会計歳入歳出決算について」の討論に入ります。

討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

討論もないようであります。これをもって討論を終結いたします。

これより、認定第2号「令和4年度会津坂下町国民健康保険特別会計歳入歳出決算について」を採決いたします。

この採決は起立をもって行います。

本決算に対する委員長の報告は認定であります。

本決算は委員長報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（全員起立）

◎議長（水野孝一君）

起立全員であります。

よって、本決算は認定することに決定いたしました。

続いて、認定第3号「令和4年度会津坂下町介護保険特別会計歳入歳出決算について」の討論に入ります。

討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

討論もないようであります。これをもって討論を終結いたします。

これより、認定第3号「令和4年度会津坂下町介護保険特別会計歳入歳出決算について」を採決いたします。

この採決は起立をもって行います。

本決算に対する委員長の報告は認定であります。

本決算は委員長報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（全員起立）

◎議長（水野孝一君）

起立全員であります。

よって、本決算は認定することに決定いたしました。

続いて、認定第4号「令和4年度会津坂下町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について」の討論に入ります。

討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

討論もないようであります。これをもって討論を終結いたします。

これより、認定第4号「令和4年度会津坂下町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算について」を採決いたします。

この採決は起立をもって行います。

本決算に対する委員長の報告は認定であります。

本決算は委員長報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（全員起立）

◎議長（水野孝一君）

起立全員であります。

よって、本決算は認定することに決定いたしました。

続いて、認定第5号「令和4年度会津坂下町下水道事業特別会計歳入歳出決算について」の討論に入ります。

討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

討論もないようであります。これをもって討論を終結いたします。

これより、認定第5号「令和4年度会津坂下町下水道事業特別会計歳入歳出決算について」を採決いたします。

この採決は起立をもって行います。

本決算に対する委員長の報告は認定であります。

本決算は委員長報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（全員起立）

◎議長（水野孝一君）

起立全員であります。

よって、本決算は認定することに決定いたしました。

続いて、認定第6号「令和4年度会津坂下町坂下東第一地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算について」の討論に入ります。

討論はありませんか。

◎11番（五十嵐一夫君）

議長、11番。

◎議長（水野孝一君）

11番、五十嵐一夫君。

◎11番（五十嵐一夫君）

私は、認定第6号「令和4年度会津坂下町坂下東第一地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算について」認定するに反対の立場から申し上げます。

南幹線通りと通称県道会津・高田線の交差点、西北に位置する工事について指摘します。

当工事は、質疑応答の中から、農地の整地工事であることが判明しました。工事の内容は、周囲の東側と北側の擁壁と整地工事です。指摘の内容は、農地であれば今のままの現状で仮換地して、つまり換地指定をなぜしないのかということです。

質疑応答の中で、擁壁を造るに土地所有者より将来のために宅地として有効に整備の申出に応じたとのことでした。これは、宅地を目的とした工事と捉えてよいと私は思慮します。

東側擁壁、北側擁壁は、畑としての機能で換地するのであれば、整地する前の現状、ずっと長い間置かれていた状態で畑の機能は十分ですので、擁壁はないと判断します。

所有者が必要性感ずるならば、自己の費用をもって行うべきで、事業会計からの支出行為はすべきではありません。また、宅地化を考慮しての工事であれば、農地の転用に伴う事前の工事とみなされ、農地法に抵触すると思慮します。

行政自らが法に抵触まがいの事業執行をしてよいのでしょうか。このような事業執行に対して感化するわけにはまいりません。当決算認定するに反対します。

◎議長（水野孝一君）

ほかに討論ありませんか。

（「討論なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

討論も尽きたようであります。これをもって討論を終結いたします。

これより、認定第6号「令和4年度会津坂下町坂下東第一地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算について」を採決いたします。

この採決は起立をもって行います。

本決算に対する委員長報告は認定であります。

本決算は委員長報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（起立多数）

◎議長（水野孝一君）

起立多数であります。

よって、本決算は認定することに決定いたしました。

続いて、認定第7号「令和4年度会津坂下町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算について」の討論に入ります。

討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

討論もないようであります。これをもって討論を終結いたします。

これより、認定第7号「令和4年度会津坂下町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決

算について」を採決いたします。

この採決は起立をもって行います。

本決算に対する委員長の報告は認定であります。

本決算は委員長報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(全員起立)

◎議長（水野孝一君）

起立全員であります。

よって、本決算は認定することに決定いたしました。

続いて、認定第8号「令和4年度会津坂下町水道事業会計決算について」の討論に入ります。

討論はありませんか。

(「討論なし」の声あり)

◎議長（水野孝一君）

討論もないようであります。これをもって討論を終結いたします。

これより、認定第8号「令和4年度会津坂下町水道事業会計決算について」を採決いたします。

この採決は起立をもって行います。

本決算に対する委員長の報告は認定であります。

本決算は委員長報告のとおり認定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(全員起立)

◎議長（水野孝一君）

起立全員であります。

よって、本決算は認定することに決定いたしました。

◎議案第43号の質疑・討論・採決

◎議長（水野孝一君）

日程第6、議案第43号「会津坂下町税特別措置条例の一部を改正する条例」を議題といたします。

説明は既に終わっておりますので、直ちに質疑に入ります。

本案に対する質疑はありませんか。

(「質疑なし」の声あり)

◎議長（水野孝一君）

質疑もないようであります。これをもって質疑を終結いたします。
これより討論に入ります。討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

討論もないようであります。これをもって討論を終結いたします。
これより、議案第43号「会津坂下町税特別措置条例の一部を改正する条例」を採決いたします。
この採決は起立をもって行います。
本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（全員起立）

◎議長（水野孝一君）

起立全員であります。
よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

◎議案第44号の質疑・討論・採決

◎議長（水野孝一君）

日程第7、議案第44号「町道路線の変更について」を議題といたします。
説明は既に終わっておりますので、直ちに質疑に入ります。
本案に対する質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

質疑もないようであります。これをもって質疑を終結いたします。
これより討論に入ります。討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

討論もないようであります。これをもって討論を終結いたします。
これより、議案第44号「町道路線の変更について」を採決いたします。
この採決は起立をもって行います。

本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(全員起立)

◎議長（水野孝一君）

起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

◎議案第45号の質疑・討論・採決

◎議長（水野孝一君）

日程第8、議案第45号「令和4年度会津坂下町水道事業剰余金の処分について」を議題といたします。

説明は既に終わっておりますので、直ちに質疑に入ります。

本案に対する質疑はありませんか。

(「質疑なし」の声あり)

◎議長（水野孝一君）

質疑もないようであります。これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

(「討論なし」の声あり)

◎議長（水野孝一君）

討論もないようであります。これをもって討論を終結いたします。

これより、議案第45号「令和4年度会津坂下町水道事業剰余金の処分について」を採決いたします。

この採決は起立をもって行います。

本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(全員起立)

◎議長（水野孝一君）

起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

◎議案第46号の質疑・討論・採決

◎議長（水野孝一君）

日程第9、議案第46号「令和5年度会津坂下町一般会計補正予算（第3号）」を議題といたします。

説明は既に終わっておりますので、直ちに質疑に入ります。

本案に対する質疑はありませんか。

◎4番（赤城大地君）

議長、4番。

◎議長（水野孝一君）

4番、赤城大地君。

◎4番（赤城大地君）

14ページ、衛生費、新型コロナウイルス感染症対策費についてお伺いいたします。

国の制度がどうなっているかというのがちょっとあやふやですので、それをまずお答えいただいてからお聞きしたいんですけども、この過年度返還金を活用するということは、現時点ではできないのでしょうか。

◎生活課長（新井田英君）

議長、生活課長。

◎議長（水野孝一君）

新井田生活課長。

◎生活課長（新井田英君）

こちらについては、こちらの返還金については、まず接種体制確保事業というようなことで、ワクチン接種に対するその体制を確保していきましょうというようなところの返還金でございます。そちらで大体1,100万ほどございます。そして、これについては、返還しないでそれを使いましょうということですけども、毎年度、今年度分も入ってきますので、それについては翌年度に返還していくというような、そういうような仕組みになっておりますので、それを使うのではなく、今年度分にして当該年度で使っていくというような流れになります。

以上でございます。

◎4番（赤城大地君）

議長、4番。

◎議長（水野孝一君）

4番、赤城大地君。

◎4番（赤城大地君）

決算書があるので分かりやすいんですけども、昨年の返還金だと900万円ほどなんですけれども、3,000弱万ほど返還ということで、これ、やっぱり制度上どうしても返還しなければならないお金ということで、この金額が出たという認識でよろしいでしょうか。

◎生活課長（新井田英君）

議長、生活課長。

◎議長（水野孝一君）

新井田生活課長。

◎生活課長（新井田英君）

清算によって翌年度返すなり、もっと出れば逆にもらうという形になるんですけども、コロナの場合は、逆に国のほうで、ある程度余分に交付するというような形でございますので、これを返還するような形になります。

以上でございます。

◎議長（水野孝一君）

ほかに質疑はありませんか。

◎6番（渡部正司君）

議長、6番。

◎議長（水野孝一君）

6番、渡部正司君。

◎6番（渡部正司君）

歳出8ページです。これの1目一般管理費の中の14節工事請負費、防犯カメラ設置についてです。

これは中央公園というような説明をいただいたと思いますが、今後、防犯カメラを設置する計画などについて、併せてお尋ねしたいと思います。

◎総務課長（佐藤銀四郎君）

議長、総務課長。

◎議長（水野孝一君）

佐藤総務課長。

◎総務課長（佐藤銀四郎君）

おはようございます。

おただしのおおり、防犯カメラ設置の37万7,000円については、会津坂下駅並びに中央公園の防犯カメラの設置となります。防犯カメラを設置しまして、犯罪を未然に防ぐ。もし起こった場合については、捜査に協力できる体制を整えていくという形になります。

今後の防犯カメラの設置に関しましては、できれば中央公園、申し訳ない。東公園での設置も来年度以降実施したいというふうに考えております。

また、町なかの通りへの設置、あと49号線、南幹線の設置については、これは坂下警察署の防犯の係とともに、今現在、民間でも設置されている防犯カメラ、特に銀行さんとコンビニエンスストアさんがありますので、それらの死角になっている部分にうまく死角が埋まらないように設置をするということで、協議は進めておるところでございますので、それらについても年次計画の中で順次整備をしていきたいというふうに考えて

おります。

◎議長（水野孝一君）

ほかに質疑はありませんか。

◎12番（酒井育子君）

議長、12番。

◎議長（水野孝一君）

12番、酒井育子君。

◎12番（酒井育子君）

同じく歳出の8ページなんですけれども、総務費の一般管理費の中の旅費について、北本市に新職員の8名を派遣したいというようなことでございますが、俵を北本市に行ってお見せするという事なんですけれども、そこに15万4,000円と、あと15ページに商工費に入っているんですが、観光に俵の運搬費28万6,000円とあるんですが、その他の経費は、私の見過ごしなのかな、見落としなのかなと思っているんですが、どの程度かかって、どの科目で支出されるのかなと思ったんですが、お聞きしたいと思います。全体的にどのくらいかかっているのか。

◎総務課長（佐藤銀四郎君）

議長、総務課長。

◎議長（水野孝一君）

佐藤総務課長。

◎総務課長（佐藤銀四郎君）

2款1項1目一般管理費の研修旅費は、総務課の担当なのでお答えします。

毎年、北本まつりには、新入職員と事務局で北本まつりの、町の物産販売であったり、町のPRということで行っております。今年度については、宵祭りから俵を持って行って引き合うことについても参加したいということなので、今回、宿泊という形で旅費を取り直したのがこちらでございます。

また、商工費については、産業課長のほうからお願いします。

◎産業課長（長谷川裕一君）

議長、産業課長。

◎議長（水野孝一君）

長谷川産業課長。

◎産業課長（長谷川裕一君）

商工費の委託料、大俵運搬業務ということで28万6,000円ということでございます。こちらは、純粹に大俵を運搬し、その車両、つり上げの車両、あるいはそれをオペレーターする方、運転する方、全てを込みの経費でございます。

議員おただしのその他の経費ともろもろということにつきましては、そもそも北本市

で物産販売、PR活動ということで、観光物産協会を中心に計画しておりましたので、その辺の経費については、通常の委託料の中に含まれているというふうにご理解いただきたいと思います。

◎12番（酒井育子君）

議長、12番。

◎議長（水野孝一君）

12番、酒井育子君。

◎12番（酒井育子君）

そうしますと、その他の費用というのは観光物産のお金で持つ。あと、商工観光班で持つということになるんですか。委託しているところでね。だから、管理費と観光費しか出ないんだよということですね。分かりました。

◎議長（水野孝一君）

よろしいですか。

ほかに質疑はありませんか。

◎11番（五十嵐一夫君）

議長、11番。

◎議長（水野孝一君）

11番、五十嵐一夫君。

◎11番（五十嵐一夫君）

15ページの農林水産、6款の中で、一番上なんですけど、負担金補助及び交付金で、野生鳥獣被害防止地域づくり事業ということで、これは洲走区ということでお聞きしたんですが、どのような事業内容なのか、200万ですけれども、通常ですと柵だけつけたりというのが多いんですけど、何か目新しいものなんかがあるのかどうか、内容についてお伺いします。

◎産業課長（長谷川裕一君）

議長、産業課長。

◎議長（水野孝一君）

長谷川産業課長。

◎産業課長（長谷川裕一君）

議員おただしのおり、洲走区から要望がございまして、区内の必要箇所に電気柵を張るといような事業内容がメインでございまして。その総延長は、4,720メートルといようなことで計画をしております。

洲走の集落から西側の山裾、それから東側の川沿いを囲むような形で、ちょうど村から見ますと、北側には田んぼなどもございまして、その辺をぐるりと囲むようなイメージで張り巡らすといような中身でございまして。

特に特殊な電気柵であるとか、何か新製品を試行的に使うとかということは、特に今回は予定してございません。

以上です。

◎議長（水野孝一君）

ほかに質疑はありませんか。

◎6番（渡部正司君）

議長、6番。

◎議長（水野孝一君）

6番、渡部正司君。

◎6番（渡部正司君）

17ページです。一番上、都市計画費の中の公園費工事請負費で公園整備として1,525万の計上です。東公園というふうな説明を受けましたが、この内容的なものをまず教えていただきたいと思います。

◎建設課長（古川一夫君）

議長、建設課長。

◎議長（水野孝一君）

古川建設課長。

◎建設課長（古川一夫君）

今回の補正で計上させていただきました経費につきましては、東公園内にインクルーシブ遊具、中型になりますけれども、そちらのほうを設置するための経費となっております。

◎6番（渡部正司君）

議長、6番。

◎議長（水野孝一君）

6番、渡部正司君。

◎6番（渡部正司君）

インクルーシブ、具体的にどんなものになりますか。

◎建設課長（古川一夫君）

議長、建設課長。

◎議長（水野孝一君）

古川建設課長。

◎建設課長（古川一夫君）

なかなか口頭で説明するのが難しいんですが、パネル式の、そのパネルの中にいろいろ動かせるようなものがあって、年齢的に言うと、どちらかというと幼児対象の遊具と

なっています。すべり台とかなんか、小さいすべり台なんかもくっついてはいましたけれども、複合施設の一つだということなのでご認識いただければと存じます。

◎議長（水野孝一君）

よろしいですか。

ほかに質疑ありませんか。

◎6番（渡部正司君）

議長、6番。

◎議長（水野孝一君）

6番、渡部正司君。

◎6番（渡部正司君）

これは、東公園への設置ということなのですが、今言ったようなインクルーシブ的な遊具については、ほかの公園についてはいかがでしょうか。

◎建設課長（古川一夫君）

議長、建設課長。

◎議長（水野孝一君）

古川建設課長。

◎建設課長（古川一夫君）

今現在、東公園以外の公園への設置は計画してございませんが、今後、年次計画によって、東公園既存の遊具の更新時にインクルーシブ遊具を順次、配備はしたいと考えてございます。

また、その他の公園につきましては、要望等々があれば、当然既存設置されている遊具が老朽化に伴って、更新時期が参りましたら、インクルーシブ遊具の導入等々も考えていかなければいけないというふうに考えてございます。

◎議長（水野孝一君）

ほかに質疑はありませんか。

◎7番（佐藤宗太君）

議長、7番。

◎議長（水野孝一君）

7番、佐藤宗太君。

◎7番（佐藤宗太君）

18ページでございます。10款2項1目12節委託料のアスベスト調査でございますが、説明では小学校、中学校辺りの調査だということなのですが、もう少し詳細について、おたじいたします。

◎教育課長（上谷圭一君）

議長、教育課長。

◎議長（水野孝一君）

上谷教育課長。

◎教育課長（上谷圭一君）

この調査につきましては、令和5年の10月1日から2005年以前に建設された施設については、100万円以上の改修等がある場合には、工事が義務づけ、調査が義務づけられるということになっております。

今回、小学校の2校と中学校分で、今回の体育館の工事も含めて、修繕も含めて工事を行っているということと、あと、ここ近年施設の老朽化が進みまして、学校施設、かなり毎年度修繕を行っております。来年度以降もある程度計画をしておりますので、その都度、調査書のアスベストの調査の提出が義務づけられておりますので、施設内、小学校、中学校の施設内の建物全てを調査対象にして調査を行い、修繕工事が入った場合に授業なり子供たちの活動に支障のないように、直ちに修繕工事ができるように対応ということで、今回計上をさせていただいたものであります。

調査内容につきましては、敷地内の全ての建物を調査するという内容になっております。

◎7番（佐藤宗太君）

議長、7番。

◎議長（水野孝一君）

7番、佐藤宗太君。

◎7番（佐藤宗太君）

調査費用で286万ということで計上されておりますが、建設当時の資料等で材料、資材等で使われていたかがもし分かれば、コストダウン等ができるのではないかと思います。その辺りはどのようになっているのでしょうか。

◎教育課長（上谷圭一君）

議長、教育課長。

◎議長（水野孝一君）

上谷教育課長。

◎教育課長（上谷圭一君）

ありがとうございます。この調査、事前調査が義務づけられた調査自体が基本的には、建設当時の設計書等での部材の確認の調査になりますので、それで3校、3施設、3地域を同時に発注することでかなりコストダウンが図られた内容になっております。

主な調査していただく作業は、建設当時の図面を中心に行うというのが主な事前調査の調査方法になります。

◎議長（水野孝一君）

ほかに質疑はありませんか。

◎11番（五十嵐一夫君）

議長、11番。

◎議長（水野孝一君）

11番、五十嵐一夫君。

◎11番（五十嵐一夫君）

17ページの8款5項の住宅費、その中の需用費です。ちょうど真ん中ぐらいですね。修繕料として、これは古町団地と中岩田団地というようなことで2か所とお聞きしていますが、水槽ということで聞いているんですけど、どのような清掃というか修繕をするのか、金額が大きいものですからお伺いいたします。

◎建設課長（古川一夫君）

議長、建設課長。

◎議長（水野孝一君）

古川建設課長。

◎建設課長（古川一夫君）

最近になりまして、退去者数が増加傾向にございます。退去をすれば個人負担で修繕をしていただく箇所というのが当然決められておりまして、それ以外の部分で修繕が必要なものについては、当然所有者である町が修繕をするような箇所になります。

加えて、例えば、長期施設に入所等々で長期間部屋を使っていないというような方が退出する際には、そのそじ方がやはりそれまで住まれて、すぐに退去する部屋とはやはりそじ方がちょっと半端でないという言い方はおかしいですが、それなりに大規模な修繕が必要になってくるような部屋もございますので、今回、そのような形で退去者が増えたことに伴って、修繕箇所が増えたというようなことで、今回、補正として計上させていただいたものでございます。

◎11番（五十嵐一夫君）

議長、11番。

◎議長（水野孝一君）

11番、五十嵐一夫君。

◎11番（五十嵐一夫君）

件数としてはどのくらいあるのでしょうか。

◎建設課長（古川一夫君）

議長、建設課長。

◎議長（水野孝一君）

古川建設課長。

◎建設課長（古川一夫君）

手元に詳細な資料はございませんが、最低でも10部屋ぐらいいはあったと思っております。それも、やはり古町川尻の退去者が最近増えてございますので、その大半が古町川尻団地の修繕料だというようなことでございます。

◎議長（水野孝一君）

ほかに質疑はありませんか。

◎12番（酒井育子君）

議長、12番。

◎議長（水野孝一君）

12番、酒井育子君。

◎12番（酒井育子君）

7款1目10節の需用費の中の恵隆寺前のあずまやの修繕というふうにお聞きしたんですけれども、まだ保証期間内じゃないかなというのが、あそこのあずまやは、まだできて3年くらいしかたっていないんじゃないかなと思うのね。それで、屋根の修繕というようなことで、あそこの看板、49号線から塔寺に入るところの看板と、63万だとおっしゃったんですけれども、あずまやにかかる修繕費は幾らで、まだ保証期間内じゃないのかなというふうなことでお伺いしたいと思います。

◎産業課長（長谷川裕一君）

議長、産業課長。

◎議長（水野孝一君）

長谷川産業課長。

◎産業課長（長谷川裕一君）

おただしのとおり、立木観音の五十嵐家住宅の折道の脇のあずまやでございます。修繕の内容といたしましては、屋根全てを葺き替えるというようなことではなく、屋根の一部、特に一番端、あそこが一部崩れ落ちて、実は構造上、タイルのようなちょっと石素材のものがぼろぼろと落ちてくるというようなことで、万が一にいたときに頭などに当たってはということ、これは構造上のことではないんでしょうけれども、やはり判断としては、劣化によって痛んで一部が崩れてしまうというようなことでございます。

何年に建設したかということ、すみません、今、手元に資料がございませんが、そういった施工業者への保証ということではないということで、やはり町で安全加工のために早急に改修しなければならないという判断の下に、今回、補正を計上させていただきました。

費用の増につきましては、この63万と合わせてありますけれども、屋根の補修につきましては、48万円程度と。円までありますが、約48万円ということで計上させていただきました。

◎議長（水野孝一君）

ほかに質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

質疑も尽きたようであります。これをもって質疑を終結いたします。
これより討論に入ります。討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

討論もないようであります。これをもって討論を終結いたします。
これより、議案第46号「令和5年度会津坂下町一般会計補正予算（第3号）」を採決
いたします。
この採決は起立をもって行います。
本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（全員起立）

◎議長（水野孝一君）

起立全員であります。
よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

◎議案第47号の質疑・討論・採決

◎議長（水野孝一君）

日程第10、議案第47号「令和5年度会津坂下町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）」を議題といたします。
説明は既に終わっておりますので、直ちに質疑に入ります。
本案に対する質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

質疑もないようであります。これをもって質疑を終結いたします。
これより討論に入ります。討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

討論もないようであります。これをもって討論を終結いたします。

これより、議案第47号「令和5年度会津坂下町国民健康保険特別会計補正予算（第2号）」を採決いたします。

この採決は起立をもって行います。

本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（全員起立）

◎議長（水野孝一君）

起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

◎議案第48号の質疑・討論・採決

◎議長（水野孝一君）

日程第11、議案第48号「令和5年度会津坂下町介護保険特別会計補正予算（第2号）」を議題といたします。

説明は既に終わっておりますので、直ちに質疑に入ります。

本案に対する質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

質疑もないようであります。これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

討論もないようであります。これをもって討論を終結いたします。

これより、議案第48号「令和5年度会津坂下町介護保険特別会計補正予算（第2号）」を採決いたします。

この採決は起立をもって行います。

本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（全員起立）

◎議長（水野孝一君）

起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

◎議案第49号の質疑・討論・採決

◎議長（水野孝一君）

日程第12、議案第49号「令和5年度会津坂下町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）」を議題といたします。

説明は既に終わっておりますので、直ちに質疑に入ります。

本案に対する質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

質疑もないようであります。これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

討論もないようであります。これをもって討論を終結いたします。

これより、議案第49号「令和5年度会津坂下町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）」を採決いたします。

この採決は起立をもって行います。

本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（全員起立）

◎議長（水野孝一君）

起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

◎議案第50号の質疑・討論・採決

◎議長（水野孝一君）

日程第13、議案第50号「令和5年度会津坂下町下水道事業特別会計補正予算（第2号）」を議題といたします。

説明は既に終わっておりますので、直ちに質疑に入ります。

本案に対する質疑はありませんか。

(「質疑なし」の声あり)

◎議長(水野孝一君)

質疑もないようであります。これをもって質疑を終結いたします。
これより討論に入ります。討論はありませんか。

(「討論なし」の声あり)

◎議長(水野孝一君)

討論もないようであります。これをもって討論を終結いたします。
これより、議案第50号「令和5年度会津坂下町下水道事業特別会計補正予算(第2号)」を採決いたします。
この採決は起立をもって行います。
本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(全員起立)

◎議長(水野孝一君)

起立全員であります。
よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

◎議案第51号の質疑・討論・採決

◎議長(水野孝一君)

日程第14、議案第51号「令和5年度会津坂下町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)」を議題といたします。
説明は既に終わっておりますので、直ちに質疑に入ります。
本案に対する質疑はありませんか。

(「質疑なし」の声あり)

◎議長(水野孝一君)

質疑もないようであります。これをもって質疑を終結いたします。
これより討論に入ります。討論はありませんか。

(「討論なし」の声あり)

◎議長(水野孝一君)

討論もないようであります。これをもって討論を終結いたします。

これより、議案第51号「令和5年度会津坂下町農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）」を採決いたします。

この採決は起立をもって行います。

本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(全員起立)

◎議長（水野孝一君）

起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

◎議案第52号の質疑・討論・採決

◎議長（水野孝一君）

日程第15、議案第52号「令和5年度会津坂下町水道事業会計補正予算（第2号）」を議題といたします。

説明は既に終わっておりますので、直ちに質疑に入ります。

本案に対する質疑はありませんか。

(「質疑なし」の声あり)

◎議長（水野孝一君）

質疑もないようであります。これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

(「討論なし」の声あり)

◎議長（水野孝一君）

討論もないようであります。これをもって討論を終結いたします。

これより、議案第52号「令和5年度会津坂下町水道事業会計補正予算（第2号）」を採決いたします。

この採決は起立をもって行います。

本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(全員起立)

◎議長（水野孝一君）

起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

◎議長（水野孝一君）

休憩のため休議といたします。再開を11時10分といたします。（午前10時57分）

（休議）

◎議長（水野孝一君）

再開いたします。（午前11時10分）

◎請願第4号の報告・質疑・討論・採決

◎議長（水野孝一君）

日程第16、総務産業建設常任委員会に付託しておりました、請願第4号「地方財政の充実・強化を求める意見書提出請願書」を議題といたします。

議題とした請願の審査経過及び結果について、総務産業建設常任委員会委員長の報告を求めます。

◎7番（佐藤宗太君）

議長、7番。

◎議長（水野孝一君）

7番、佐藤宗太総務産業建設常任委員会委員長。

◎7番（佐藤宗太君）（登壇）

総務産業建設常任委員会請願審査結果について、ご報告申し上げます。

去る9月6日、北庁舎にて、9時52分から、委員7名全員参加の下、請願第4号「地方財政の充実・強化を求める意見書提出」について、審査をいたしました。

審査の結果、委員全員賛同の下、採択すべきものと決せられましたので、報告いたします。

◎議長（水野孝一君）

これより委員長報告に対する質疑に入ります。

請願第4号について、質疑はありますか。

（「質疑なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

質疑もないようであります。これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありますか。

(「討論なし」の声あり)

◎議長（水野孝一君）

討論もないようであります。これをもって討論を終結いたします。

これより、請願第4号「地方財政の充実・強化を求める意見書提出請願書」を採決いたします。

この採決は起立をもって行います。

請願第4号に対する委員長報告は採択であります。

この請願は委員長報告のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

(全員起立)

◎議長（水野孝一君）

起立全員であります。

よって、請願第4号は委員長の報告のとおり採択することに決定されました。

◎請願第5号の報告・質疑・討論・採決

◎議長（水野孝一君）

日程第17、文教厚生常任委員会に付託しておりました、請願第5号「国民皆保険制度の象徴でもある現行の健康保険証の存続を求める請願について」を議題といたします。

議題とした請願の審査経過及び結果について、文教厚生常任委員会委員長の報告を求めます。

◎2番（蓮沼文明君）

議長、2番。

◎議長（水野孝一君）

2番、蓮沼文明文教厚生常任委員会委員長。

◎2番（蓮沼文明君）（登壇）

文教厚生常任委員会に付託された請願書の審査経過及び結果について、ご報告申し上げます。

去る9月6日、午前9時55分より、文教厚生常任委員会を役場3階大会議室において、委員7名全員出席の下、開催し、請願第5号「国民皆保険制度の象徴でもある現行の健康保険証の存続を求める請願について」の審査を行いました。

委員全員から意見を伺い、その出された意見として「マイナンバーカードの作成はもと任意のものだったはずである」「保険証は国民皆保険の源であり、マイナンバーカードの保険証を使うか使わないかで初診料が変わるなど、その中に選別を持つことになってしまう」「つくりたくてもつukれない人もいることは事実である」「自分で申請できない方もいる」「現行のままでいいのではないか」「マイナンバーカードが行き渡

っていない中で無理な方針とも思える」「保険証として使うにはまだ拙速、まだ早すぎると考える」「移行した際、資格確認証の発行など余計に手間がかかる」「時期早々、混乱を招く」等の意見が出されました。

また、趣旨選択の意見として「マイナンバーカードについては、賛否両論である」「これからマイナンバーカードを利用すると、そういうデジタル社会に移行すると国でも言っている」「避けては通れない」「気持ち趣旨は分かるので、趣旨選択が適当だと思う」との意見も出されました。

以上、委員会に付託されたこの請願について、委員全員から審査におけるご意見をいただき、委員長を除く6名で採択した結果、請願書について、採択することに賛成する委員、挙手5名、賛成多数により、本請願書を採択すべきものと決定したので、ご報告申し上げます。

◎議長（水野孝一君）

これより委員長報告に対する質疑に入ります。

請願第5号について、質疑はありませんか。

◎4番（赤城大地君）

議長、4番。

◎議長（水野孝一君）

4番、赤城大地君。

◎4番（赤城大地君）

ただいま委員長の報告の中で、賛成5名ということだったんですが、残りの1名についてはどのような判断だったのかお伺いします。

◎2番（蓮沼文明君）

議長、2番。

◎議長（水野孝一君）

2番、蓮沼文明君。

◎2番（蓮沼文明君）

先ほども申し上げたとおり、趣旨選択ということで、名前は、要するに賛成には入らないという部分で5名、1名が趣旨採択ということで、採択に入っております。

◎議長（水野孝一君）

ほかに質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

質疑も尽きたようであります。これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

◎8番（山口 享君）

議長、8番。

◎議長（水野孝一君）

8番、山口 享君。

◎8番（山口 享君）

私は、この請願に対して反対の立場で討論を申し上げます。

趣旨は私も理解します。また、トラブルがたくさんあったことも報道機関で知っています。しかし、この国のデジタル化、DX化への道は、本筋、方向性としては決して間違っていないと思っています。マイナ保険証が許されれば、役所の経費削減、保険証の不正利用、そういうのが減ります。過去レセプトが分かり、医療の質の向上も上がります。資格確認書をつけ、マイナ保険証を持っていない人のために発行すれば、また年間241億円ほどの予算も計上されることとなります。

余談ではありますが、数年前、車のETCというのがありました。これはメーカーがつければ、本当に安く全員の車につけることができました。しかし、反対があったために、一般車両とETC車両に分けて運用を現在もされています。あ那时候、全てETCにすれば、今、切符を切ったり券を出したりするようなことが一切なく、経費の削減につながった、そういうような事実もありました。

デジタル社会、DXの逆行は、逆行してはいけません。時間的にも来年の秋までと1年以上もあるわけですから、日本の英知、日本人の英知と努力で推進していただきたいと思ひ、この請願には反対いたします。

◎議長（水野孝一君）

ほかに討論ありませんか。

◎11番（五十嵐一夫君）

議長、11番。

◎議長（水野孝一君）

11番、五十嵐一夫君。

◎11番（五十嵐一夫君）

私は、本請願については、趣旨採択の立場から請願どおりの採択そのものには反対をいたします。

マイナンバーカード普及を図るべく、マイナ保険証についての請願であります。

国では、これから迎えるデジタル社会に対応すべくマイナンバーカード普及のために、保険証をまず一本化しようと進めています。これから、デジタル社会により国民がその恩恵にあずかれるよう目指していると私には映ります。

これからデジタル社会はますます普及していくことは必定です。避けて通れないことであります。

請願者は、健康保険証の存続を求めています。ずっと存続を求めていくのでしょうか。

時限的であれば理解できる部分もありますが、存続には限りが必要です。請願の中で誤登録が7,300件に及ぶとあります。人口1億2,000万人ですので、1,000万人で割りますと、1万2,000人当たり0.7件になります。当坂下町の人口に当てはめると、1万4,000人ですので、1件に満たない数字です。誤登録で混乱はありましたが、ほんのごくごく一部であります。そのように報じている新聞社もあります。人間が行う作業ですので、私はよく誤登録を抑えたと感心しています。

マイナンバーカードは、保険証に限らず、広く普及していくはずですが、マイナ保険証の運用を停止すべきとの趣旨もありますが、普及は進めるべきものです。私は、マイナ保険証には混乱もありましたが、これからデジタル社会が普及するには間違いありません。保険証以外にも利用が及びます。

委員長報告には賛成できません。しかし、請願者の意を酌んで、趣旨採択がふさわしいとの立場です。

◎議長（水野孝一君）

ほかに討論はありませんか。

◎5番（横山智代君）

議長、5番。

◎議長（水野孝一君）

5番、横山智代君。

◎5番（横山智代君）

私は、この請願に対して賛成の立場で討論いたします。

先ほど来からいろいろな不具合があったとか、そういうことはもういろんな報道関係その他において、皆さんもご存じのことと思います。ただ、多くの国民の人たちの中には、個人情報流出に対する不安、それから国家による個人情報の管理、それに対する不安というものも決して拭いきれるものではないと思います。

また、介護が必要な高齢者、障害者らにとって、その利用は大変困難で、その介護に当たる職員、そして介護に当たる方たちは、暗証番号をそれぞれ管理しなければいけないという、そこもかなり困難な部分があって、これらを改善する。そして、さらに進めて安心して使えるようなものでなければならぬと思います。

また、顔認証によるナンバーカードの申請に対して、車椅子の方がヘッドレストの映り込みで却下された、それから全盲の方が黒目がないということで却下されたというような、そんなことも出ております。

また、無保険者が増えることによって、またさらにいろいろな問題が出てくるのではないかと考えられます。

マイナンバーカードの取得自体は、申請主義で任意なのに、国民皆保険の下での健康保険証を一方的に廃止し、不利益を生じさせることは認められません。健康保険証が廃止となれば、マイナンバーカードを持たない人は、公的医療から遠ざけられることは、これは必須となります。国民皆保険制度の下で守られている国民の命と健康が脅かされ

る事態だと思います。

健康保険証の廃止は、事実上のマイナンバーカード取得強制につながるものではないかと思われます。きちっとした安全が確立され、そして、皆が同じような平等の下にマイナンバーカードが発行されるようになるまでは、今の紙による、紙媒体による保険証は必要なものであると思いますので、本請願に賛成いたします。

◎議長（水野孝一君）

ほかに討論ありませんか。

◎13番（小畑博司君）

議長、13番。

◎議長（水野孝一君）

13番、小畑博司君。

◎13番（小畑博司君）

私は、この請願に賛成の立場で発言をいたします。

マイナンバーカードそのものは、あくまでも任意であります。作りたくない方もいらっしゃれば、つくれない、つくろうとしてもつくれない方もいらっしゃる。今現在もそうですし、これからもそうした方が出てくるということは、誰も、皆さんご承知のとおりだと思います。

一方、健康保険証は、皆保険であり、誰もが安心して同じ医療サービスを受けられる世界に誇れる制度であります。マイナンバーカードを前提とするマイナ保険証につきましては、今ほどの同僚議員からもありましたように、初診料における差別、ペナルティーというふうにとられかねないものまで導入しようとしている現状は、到底理解できるものではありません。

また、現在、一人も取り残さない社会をつくろうと、SDGsの精神が広く説かれています。この方向にも全くそぐわないことになるのではないのでしょうか。仕方がないでは済まされない。時代の趨勢では済まされない。なぜ、健康保険証を残してまずいのでしょうか。

安心して今の医療を受けられる制度を存続すべきであり、この請願については採択すべきものだと思います。

◎議長（水野孝一君）

ほかに討論ありませんか。

◎4番（赤城大地君）

議長、4番。

◎議長（水野孝一君）

4番、赤城大地君。

◎4番（赤城大地君）

私はこの請願と委員長報告に反対、すなわち採択すべきでないものとして討論いたし

ます。

もろもろのマイナンバーカード健康保険証の議論においては、もろもろの議論があるところではございますが、それらは政府のやり方、あるいは政権与党に対する批判であり、マイナンバーカードが健康保険証になること自体は、その議論と少し外れたところにあるのかなと思います。

これから令和11年度に国民健康保険が県下統一される中、これらの利便性が向上すると思いますので、今、議会としてこれを出すべきどうか考えたときに、これは採択をすべきではないと考えます。

以上です。

◎議長（水野孝一君）

ほかに討論はありませんか。

（「討論なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

討論も尽きたようであります。これをもって討論を終結いたします。

これより、請願第5号「国民皆保険制度の象徴でもある現行の健康保険証の存続を求める請願について」を採決いたします。

この採決は起立をもって行います。

請願第5号に対する委員長報告は採択であります。

この請願は委員長報告のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（起立多数）

◎議長（水野孝一君）

起立多数であります。

よって、請願第5号は委員長の報告のとおり採択することに決定されました。

◎発委第5号の説明・質疑・討論・採決

◎議長（水野孝一君）

日程第18、発委第5号「地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について」を議題といたします。

提出者の説明を求めます。

◎7番（佐藤宗太君）

議長、7番。

◎議長（水野孝一君）

7番、佐藤宗太総務産業建設常任委員会委員長。

◎7番（佐藤宗太君）

発委第5号「地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について」ご説明を申し上げます。

去る9月6日、北庁舎会議室にて、9時52分から、委員7名参加の下、協議をいたしました。

地方財政の充実・強化に関する意見書（案）は、次のとおりでございます。

地方財政の充実・強化に関する意見書（案）

今、地方公共団体には、急激な少子・高齢化の進展に伴う子育て、医療・介護など、社会保障制度の整備、また人口減少下における地域活性化の対策、脱炭素化を目指した環境対策、度重なる自然災害に対する防災・減災や災害復旧の取組あるいは行政のデジタル化推進など、極めて多岐にわたる役割が求められつつあります。

しかし、現実には、地域公共サービスを担う人材は不足しており、疲弊する職場実態にある中、急激な物価高騰で急増する多様な社会保障ニーズへの対応など、新しい課題にも取り組む必要があります。

これらに対応するための地方財政について、政府は「骨太方針2021」において、2021年度の地方一般財源水準を2024年度までに確保するとしていますが、それをもって増大する行政需要に十分に対応し得るのか、大きな不安が残っております。

このため、2024年度の政府予算と地方財政の検討に当たっては、物価高騰等も勘案しながら、歳入・歳出を的確に見積もり、地方財政の確立を目指すよう、以下の事項の実現を求めます。

これら、諸課題の解決には、地方財政の充実、強化が不可欠となりますので、次の事項について地方自治法第99条の規定により、政府関係機関に対し、意見書を提出していただきますようお願いいたします。

記。

1、社会保障の維持・確保、人への投資も含めた地域活性化、デジタル化、脱炭素化、防災・減災、物価高騰対策、地域公共交通の再構築など、増大する地方公共団体の財政需要を的確に把握するとともに、それを支える人件費を重視し、十分な地方一般財源総額の確保を図ること。

2、とりわけ、今後一層求められる子育て対策、また地域医療の確保、介護や生活困窮者の自立支援など、急増する社会保障ニーズが自治体の一般行政経費を圧迫することから、地方単独事業分も含め、十分な社会保障経費の拡充を図ること。特に、これらの分野を支える人材確保に向けた自治体の取組を十分に支える財源措置を講じること。

3、地方交付税の法定率を引き上げるなどし、臨時財政対策債に頼らない、より自律的な地方財政の確立に取り組むこと。また、地域間の財源偏在性の是正に向けては、所得税や偏在性がより小さい消費税を対象に国税から地方税への税源移譲を行うなど、より抜本的な改善を行うこと。

4、引き続きの新型コロナウイルス感染症対策として、5類移行後におけるワクチン

接種体制や保健所も含めた医療提供体制について、自治体での混乱が生じることのないよう、十分な財政措置やより速やかな情報提供などを行うこと。

5、「まち・ひと・しごと創生事業費」の1兆円については、新たに「地方創生推進費」として、2023年度も確保されているが、持続可能な地域社会の維持・発展に向けて、より恒久的な財源とすること。

6、会計年度任用職員制度の運用については、2024年度から可能となる勤勉手当の支給も含め、今後も当該職員の処遇改善や雇用確保が求められることから、引き続き所要額の調査を行うなどし、その財政需要を十分に満たすこと。

7、特別交付税の配分に当たり、諸手当等の支給水準が国の基準を超えている自治体に対して、その取扱いを理由とした特別交付税の減額措置を行わないこと。

8、デジタル化における自治体業務システムの標準化については、引き続き「地域デジタル社会推進費」に相当する財源を確保するなど、十分な財源を保障すること。特に戸籍等への記載事項における「氏名の振り仮名」の追加については、自治体において相当な業務負荷が予想されることから現場における意見を十分に勘案しながら、必要な経費を国の責任において確保すること。

9、森林環境譲与税については、より林業需要を見込める自治体への譲与額を増大させるよう、人口による配分を3割とする現行の譲与基準を見直すこと。

10、人口減少に直面する小規模自治体を支援するため、段階補正を拡充するなど、地方交付税の財源保障機能・財政調整機能の強化を図ること。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

令和5年9月13日。福島県河沼郡会津坂下町議会。衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、総務大臣、財務大臣、厚生労働大臣、農林水産大臣、国土交通大臣、デジタル大臣、内閣府特命担当大臣宛て。

説明は以上でございます。

◎議長（水野孝一君）

これより本案に対する質疑に入ります。質疑はありますか。

◎4番（赤城大地君）

議長、4番。

◎議長（水野孝一君）

4番、赤城大地君。

◎4番（赤城大地君）

意見書全文の中、後段については、これは意見書の中に盛り込むべきものではありませんので、ちょっと委員会のときに入っていたかどうか確認が漏れたんですけども、今、審議が進んでいますので、議長の決裁において修正していただくようにしたらいかがと思うんですが、いかがでしょうか。

◎議長（水野孝一君）

暫時休議いたします。

(午前11時34分)

(休議)

◎議長（水野孝一君）

再開いたします。

(午前11時35分)

赤城委員、もう一度お願いします。

◎4番（赤城大地君）

議長、4番。

◎議長（水野孝一君）

4番、赤城大地君。

◎4番（赤城大地君）

意見書後段、全文の後段については、後半3文ですね。「これら、諸課題の解決には」というところから「提出して頂きますようお願いいたします」というのは、請願書からこちらに対する文書ですので、これについては入るべきではないと思いますので。

ただ、審議がここまで進んでおりますので、議長決裁において修正していただければいかにかということですが。

◎議長（水野孝一君）

再開いたします。

(午前11時36分)

◎7番（佐藤宗太君）

ただいまの件でございますが、こちらのほう、余分な部分が入っていることが確認されましたので、議長の判断に委ねたいと思います。

◎議長（水野孝一君）

今の件について、議長の判断としては削除したいというふうに思いますので、よろしくをお願いします。

ほかに質疑はありませんか。

(「質疑なし」の声あり)

◎議長（水野孝一君）

質疑も尽きたようであります。これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

(「討論なし」の声あり)

◎議長（水野孝一君）

討論もないようであります。これをもって討論を終結いたします。

これより、発委第5号「地方財政の充実・強化に関する意見書の提出について」を採決いたします。

この採決は起立をもって行います。

本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（全員起立）

◎議長（水野孝一君）

起立全員であります。

よって、本案は原案のとおり可決されました。

◎発委第6号の説明・質疑・討論・採決

◎議長（水野孝一君）

日程第19、発委第6号「国民皆保険制度の象徴でもある現行の健康保険証の存続を求める意見書の提出について」を議題といたします。

提出者の説明を求めます。

◎2番（蓮沼文明君）

議長、2番。

◎議長（水野孝一君）

2番、蓮沼文明文教厚生常任委員会委員長。

◎2番（蓮沼文明君）

発委第6号「国民皆保険制度の象徴でもある現行の健康保険証の存続を求める意見書の提出について」ご説明申し上げます。

地方自治法第99条の規定により、別紙意見書を会津坂下町議会会議規則第14条の規定により、提出いたします。

国民皆保険制度の象徴でもある現行の健康保険証の存続を求める意見書（案）につきましては、別紙内容については、このとおりでございます。

なお、高齢化社会に向かい、誰もが活用しきれない事実を踏まえ、システム全体の問題を洗い出し、国民の不信を払拭すべきです。そして、世界に誇るべき国民皆保険制度の象徴でもある健康保険証は、存続すべきであることを強く求めるものです。

よって、地方自治法第99条の規定により、下記事項について意見書を提出いたします。

- 1、国民皆保険制度の象徴でもある現行の健康保険証を存続すること。
- 2、現行の保険証とマイナ保険証の選択制を尊重すること。

令和5年9月13日。内閣総理大臣、衆議院議長、参議院議長、総務大臣、法務大臣、厚生労働大臣、デジタル大臣。

説明は以上でございます。議員各位のご賛同を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

◎議長（水野孝一君）

これより本案に対する質疑に入ります。質疑はありませんか。

（「質疑なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

質疑もないようであります。これをもって質疑を終結いたします。

これより討論に入ります。討論はありませんか。

◎11番（五十嵐一夫君）

議長、11番。

◎議長（水野孝一君）

11番、五十嵐一夫君。

◎11番（五十嵐一夫君）

先ほど請願5号の採択に、委員長報告に対して反対しましたので、この意見書（案）の提出については反対をいたします。

◎議長（水野孝一君）

ほかに討論ありませんか。

（「討論なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

討論も尽きたようであります。これをもって討論を終結いたします。

これより、発委第6号「国民皆保険制度の象徴でもある現行の健康保険証の存続を求める意見書の提出について」を採決いたします。

この採決は起立をもって行います。

本案は原案のとおり決定することに賛成の諸君の起立を求めます。

（起立多数）

◎議長（水野孝一君）

起立多数であります。

よって、本案は原案のとおり可決いたしました。

◎議員派遣の件

◎議長（水野孝一君）

日程第20、「議員派遣の件」を議題といたします。
内容について、職員に朗読させます。

◎書記（加藤秀法君）

議員派遣の件

次のとおり議員を派遣する。

令和5年9月13日

会津坂下町議会議長 水野孝一

1 全国町村議会議長会主催広報研修会

- (1) 目的 議会活動に対する住民の関心と理解を深めることが要請されていることに鑑み、広報広聴特別委員を対象に編集技術を習得し、議会広報の充実を図る。
- (2) 派遣場所 東京都千代田区
- (3) 期間 令和5年9月27日（水）から28日（木）
- (4) 派遣議員 議員5人以内

2 福島県町村議会議長会主催議員研修会

- (1) 目的 2元代表制による議会機能の高揚と町村自治の振興発展を図る。
- (2) 派遣場所 福島県郡山市
- (3) 期間 令和5年10月23日（月）
- (4) 派遣議員 議員14人以内

◎議長（水野孝一君）

お諮りいたします。

ただいま朗読のとおり、会議規則第127条の規定により、議員の派遣をしたいと思います。これにご異議ありません。

（「異議なし」の声あり）

◎議長（水野孝一君）

ご異議ないものと認めます。

よって、本案は原案のとおり、議員を派遣することに決定いたしました。

◎継続調査の申出

◎議長（水野孝一君）

日程第21「継続調査の申出」を議題といたします。

総務産業建設常任委員会、文教厚生常任委員会、議会運営委員会、広報広聴特別委員

会及び新庁舎建設検討特別委員会の各委員長から、会議規則第75条の規定により、議会閉会中の継続調査の申出があります。

申出書の朗読を省略し、お諮りいたします。

各委員会委員長からの申出のとおり、議会閉会中の継続調査に付することにご異議ありませんか。

(「異議なし」の声あり)

◎議長（水野孝一君）

ご異議ないものと認めます。

よって、各委員会委員長からの申出のとおり、議会閉会中の継続審査に付することにより決定いたしました。

以上をもって、本定例会に付議された案件の審議は全部終了いたしました。

◎町長の挨拶

◎議長（水野孝一君）

町長より挨拶の申出がありますので、これを許可いたします。

◎町長（古川庄平君）

議長、町長。

◎議長（水野孝一君）

古川町長。

◎町長（古川庄平君）（登壇）

本日、第3回定例会が閉会されるに当たり、御礼を兼ねまして一言ご挨拶を申し上げます。

8月31日から本日までの14日間の審議を尽くしていただき、本日を迎えることができました。心より御礼申し上げます。

本定例会に提出いたしました案件は、21件でありましたが、人事案件をはじめ、条例の改正、一般会計並びに各特別会計の決算認定、補正予算等の全議案について、原案のとおり議決を賜り心より感謝を申し上げます。

新しいまちづくりにつきましては、10年後、20年後の会津坂下町を考える会の市街地活性化部会をスタートに、教育、福祉、産業振興などの各部会を随時立ち上げ、幅広い世代の皆様からこれからの会津坂下町を考える場に参画していただき、皆様の思いを反映し、活気ある将来の会津坂下町のランドデザインを描いていきたいと考えております。

そして、第六次会津坂下町振興計画後期基本計画におきまして、町民の思いを反映し、やりたいことがあふれ、将来にわたり住み続けたい町の実現につながるよう尽力してまいります。

本会議中に議員の皆様から寄せられました貴重なご意見、ご提言につきましては、肝

に銘じ、今後の町政執行に生かしてまいりたいと考えております。また、いただいたご意見やご提言のうち、早期に実施可能な取組につきましては、速やかに着手してまいります。

最後になりましたが、町政進展に向けた議員皆様方の日頃からのご支援に改めて感謝と御礼を申し上げ、閉会に当たりましての挨拶とさせていただきます。

本当にありがとうございました。

◎閉会の宣告

◎議長（水野孝一君）

これをもちまして、令和5年第3回会津坂下町議会定例会を閉会いたします。

ご苦労さまでした。

（閉会 午前11時46分）

直ちに議員のみによる議会運営委員会を中会議室において開催いたします。

なお、午後1時より、議会全員協議会を大会議室において開催いたしますので、関係者をご参集願います。

地方自治法第123条第2項の規定により署名する。

令和5年9月13日

会津坂下町議会議長

同 議員

同 議員